

## 業績目録(平成22年)

### 疼痛・緩和医療学

#### (A-a) 英文著書

該当なし

#### (A-b) 和文著書

- 1 細川豊史. Q19「非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)について教えてください」. 一般病棟でできる緩和ケア Q&A 改訂版. 堀夏樹, 小澤桂子 編. 総合医学社, 東京: pp40-41, 2010.
- 2 細川豊史. がんの痛み緩和のための医療用麻薬の上手な使い方. 厚生労働省「がん疼痛緩和と医療用麻薬適正使用推進のための講習会」テキスト, 高知: pp2-23, 2010.
- 3 細川康二, 細川豊史. 6. 術後疼痛. NSAIDs の選び方・使い方ハンドブック. 佐野統 編. 羊土社, 東京: pp237-243, 2010.
- 4 細川豊史. 第1章 概論 1. 定義と臨床的特徴, 2. 分類, 3. 疫学, 第3章 治療 2. 抗うつ薬, 5. 脊髄刺激療法. 神経障害性疼痛診療ガイドブック. 小川節郎 編. 南山堂, 東京: pp2-4・pp5-9・pp10-12・pp57-63・pp99-103, 2010.
- 5 細川豊史. NSAIDs. 癌性疼痛. 花岡一雄 編. 克誠堂出版, 東京: pp19-29, 2010.
- 6 細川豊史. 9章緩和ケア(緩和医療). 外科周術期マニュアル. 岩井直躬, 大辻英吾 編. 金芳堂, 東京: pp261-266, 2010.
- 7 細川豊史, 石丸圭荘. 神経ブロック・鍼療法. 医歯薬出版株式会社, 東京: 2010.
- 8 細川豊史. 神経ブロック. がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2010年版. 日本緩和医療学会 緩和医療ガイドライン作成委員会 編. 金原出版株式会社, 東京: pp88-92, 2010.
- 9 細川豊史. がん疼痛、これだけは知っておきたいペインクリニック Q&A. 麻酔科学レクチャー2(4). 小川節郎 編. 総合医学社, 東京: pp763-768, 2010.
- 10 深澤圭太, 深澤まどか, 細川豊史. インピンジメント症候群. 整形外科ペインクリニック. 小川節郎 編. 克誠堂, 東京: pp66-72, 2010.
- 11 深澤圭太. 星状神経節ブロック, 胸部傍脊椎ブロック, 肩甲上神経ブロック. 神経ブロック・鍼療法. 細川豊史・石丸圭荘編. 医歯薬出版, 東京: pp. 37-38, 73-74, 78-79, 2010.

- 12 上野博司, 細川豊史. 胸郭出口症候群. 整形外科ペインクリニック. 小川節郎編. 克誠堂出版, 東京: pp83-90, 2010.
- 13 上野博司. 腕神経叢, 坐骨神経. 神経ブロック・鍼療法. 細川豊史・石丸圭荘編. 医歯薬出版, 東京: pp53-57, 89-92, 2010.
- 14 大西佳子, 細川豊史. 肩こり. 整形外科 ペインクリニック (小川節郎編), pp73-82, 克誠堂出版, 東京, 2010.
- 15 大西佳子. 三叉神経. 神経ブロック・鍼療法. 細川豊史・石丸圭荘編著. pp13-21, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2010.
- 16 大西佳子. 頸部神経根. 神経ブロック・鍼療法. 細川豊史・石丸圭荘編著. pp47-50, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2010.
- 17 深澤まどか. 上肢の末梢神経. 神経ブロック・鍼治療. 細川豊史, 石丸圭荘編. 医歯薬出版株式会社, 東京: pp60-69, 2010.
- 18 深澤まどか. 腰椎後枝内側枝ブロック, 高周波熱凝固法. 神経ブロック・鍼治療. 細川豊史, 石丸圭荘編. 医歯薬出版株式会社, 東京: pp103-106, 2010.
- 19 原田秋穂. 脛骨神経・総腓骨神経. 神経ブロック・鍼治療. 細川豊史, 石丸圭荘編. 医歯薬出版株式会社, 東京: pp103-106, 2010

(B-a) 英文総説  
該当なし

(B-b) 和文総説

- 1 上野博司, 深澤圭太, 原田秋穂, 細川豊史. エピドラスコピーの合併症・偶発症. 日本臨床麻酔学会誌 33: 297-303, 2010.
- 2 細川豊史. 突出痛に関する治験. 特集「がん性疼痛治療」. Mebio 27(8): 40-45, 2010.

(C-a) 英文原著

- 1 Izumi Y, Amaya F, Hosokawa K, Ueno H, Hosokawa T, Hashimoto S, Tanaka Y. Five-day pain management regimen using patient-controlled analgesia facilitates early ambulation after cardiac surgery. J Anesth 24: 187-191, 2010. (IF= 1.117)
- 2 Shibasaki M, Sasaki M, Miura M, Mizukoshi K, Ueno H, Hashimoto S, Tanaka Y, Amaya F. Induction of high mobility group box-1 in dorsal root ganglion contributes to pain hypersensitivity after peripheral nerve injury. Pain 149: 514-521, 2010. (IF= 5.836)

- 3 Kanbayashi Y, Hosokawa T, Okamoto K, Konishi H, Otsuji E, Yoshikawa T, Takagi T, Taniwaki M. Statistical identification of predictors for peripheral neuropathy associated with administration of bortezomib, taxanes, oxaliplatin or vincristine using ordered logistic regression analysis. *Anticancer Drugs*. 2010; 21:877-81. (IF=1.784) (消化器内科学、消化器外科学、血液・腫瘍内科学との共同)

(C-b) 和文原著

- 1 小西洋子, 細川豊史, 神林祐子, 藤本早和子, 岡田耕二. 「京都府がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」の評価. *Palliat Care Res*; 5:152-161, 2010.
- 2 宮崎東洋, 花岡一雄, 並木昭義, 小川節郎, 北島敏光, 細川豊史, 鈴木康正, 野上昌二, 田熊清貴. デュロテップ<sup>®</sup>パッチの非がん性慢性疼痛患者を対象とした臨床試験 I — 1 ~ 4 週および長期貼付 —. *新薬と臨床* 59 : 157-180, 2010.

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 1 細川豊史. 痛みと COX の関わり—最新の話—. 第 5 回奈良泌尿器科手術手技研究会, 2010, 奈良.
- 2 細川豊史. 複合性局所疼痛症候群(CRPS)の判定基準と治療. 鹿児島疼痛懇話会, 2010, 鹿児島.
- 3 細川豊史. 緩和ケアにおけるフェンタニル貼付剤の今後の展望 (臨床の基礎). 第 1 回北九州・筑豊痛みを考える会, 2010, 小倉.
- 4 細川豊史. ペインクリニックにおける実戦的使用法—その臨床的詳細について—. 日本ペインクリニック学会東北地方会, 2010, 秋田.
- 5 細川豊史. がん性疼痛治療のニューウェーブ—その基本概念と実際について—. 第 2 回 KNG Cancer Pain Management, 2010, 横浜.
- 6 細川豊史. 非がん性慢性疼痛に対するオピオイド使用について. 学会企画 5(安全委員会企画); 麻酔科と薬物管理・薬物依存を考える. 日本麻酔科学会第 57 回学術集会, 2010, 福岡.
- 7 細川豊史. ペインクリニック学会関連保険診療改訂の結果を解説. 学会企画; 総務委員会企画麻酔科の保険診療を考える. 日本麻酔科学会第 57 回学術集会, 2010, 福岡.
- 8 細川豊史. 痛みの基礎知識—帯状疱疹後神経痛の薬物治療について—. 痛みの基礎知識勉強会, 2010, 京都.

- 9 細川豊史. 非がん性慢性疼痛に対するオピオイド適正使用のための今後の取り組み. イブニングセミナー；日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第50回合同学術集会, 2010, 東京.
- 10 Hosokawa T. Effect of Low-Level Laser Irradiation on Sympathetic Nervous System and Microcirculation. The Asian Pacific Association for Laser Medicine & Surgery, 2010.10.8 ; Suwa.
- 11 細川豊史. トラマドールのがん疼痛治療における役割—その位置づけと実戦的使用法について—. 愛知県病院薬剤師会学術講演会, 2010. 名古屋.
- 12 細川豊史. トラマドール塩酸塩のがん疼痛治療に果たす役割—特徴、位置づけ、実践的使用法について—. いわて緩和ケアフォーラム, 2010, 盛岡.
- 13 細川豊史. がん疼痛管理に必要な痛みと鎮痛薬の基礎知識、そしてフェンタニルパッチを中心としたオピオイドの実践的使用法. ランチョンセミナー；日本臨床麻酔学会第30回大会, 2010, 徳島.
- 14 Hosokawa T. Effect of Low-Level Laser Irradiation on Sympathetic Nervous System and Microcirculation. The 51<sup>st</sup> Scientific Meeting of the Korean Pain Society, 2010.11.20; Seoul, Korea.
- 15 細川豊史. 特別講演；非がん疼痛（慢性疼痛）に対するオピオイド治療について. 埼玉東部痛みの研究会, 2010, 越谷.
- 16 細川豊史. がん疼痛治療における新しい展開—トラマドールの位置づけとその使い方—. トラマドールカプセル発売記念講演会, 2010, 愛媛.
- 17 上野博司. 招請講演 がん疼痛の診断と治療. 日本ペインクリニック学会第44回大会, 2010, 京都.

## II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 深澤圭太, 細川豊史. エコーガイド下仙腸関節ブロックの有用性. シンポジウム(4)神経ブロック. 第39回日本慢性疼痛学会, 2010, 東京.
- 2 深澤圭太, 河端恭代, 廣瀬宗孝, 細川豊史. 臨床における低反応レベルレーザー照射の疼痛緩和効果発現メカニズムについての検討. シンポジウムV；光の標的と臨床：分子・細胞・生物反応. 第22回日本レーザー治療学会, 2010, 横浜.
- 3 深澤圭太, 細川豊史. エコーガイド下仙腸関節ブロック. シンポジウム4；エコーガイド下神経ブロックの可能性を探る—超音波は神経ブロックをどう変えたか—. 日本ペインクリニック学会第44回大会, 2010, 京都.

- 4 深澤圭太, 河端恭代, 廣瀬宗孝, 細川豊史. 低反応レベルレーザー照射の疼痛緩和効果発現メカニズムについての検討. シンポジウム4 ; LLLTの多彩な生物反応と臨床. 第31 回日本レーザー医学会総会, 2010, 名古屋.

### Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 1 Hosokawa T. Effect of Low-Level Laser Irradiation on Sympathetic Nervous System and Microcirculation. The 51st Scientific Meeting of the Korean Pain Society. 2010 Nov 20 ; Seoul, Korea.

- E 研究助成 (競争的研究助成金)  
該当なし

## 業績目録(平成23年)

### 疼痛・緩和医療学

#### (A-a) 英文著書

- 1 Hosokawa T, Ishimaru K. Edit: Nerve block and Acupuncture. in Korean issued Ishiyaku Publisher, Seoul, 2011.

#### (A-b) 和文著書

- 1 細川豊史. 呼吸困難(感)・がん疼痛の緩和. 肺がん治療と化学療法. 坂田優 監修, 益田典幸 編. ヴァンメディカル, 東京: pp184-189, 2011.
- 2 細川豊史. 神経障害性疼痛(神経障害痛)とその治療. Annual Review 神経. 鈴木則, 祖父江元, 荒木信夫, 宇川義一, 川原信隆 編. 中外医学社, 東京: pp100-108, 2011.
- 3 細川豊史. 神経障害性疼痛ガイドブック. 日本ペインクリニック学会 神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン作成 WG(細川豊史 WG 委員長) 編・著. 真興交易医学出版部, 東京: 2011.
- 4 深澤圭太. 侵害受容性疼痛との鑑別, P210-217, 神経障害性疼痛, 克誠堂出版, 東京, 2011.

#### (B-a) 英文総説

該当なし

#### (B-b) 和文総説

- 3 細川豊史. 舌咽神経ブロック. ペインクリニック別冊春号 : 55-62, 2011.
- 4 細川豊史. 京都府立医科大学付属病院における緩和医療の変遷と現状. ペインクリニック 32(6) : 866-878, 2011.
- 5 細川豊史. 緩和ケアにおける漢方薬の役割とその実際. ペインクリニック 32 : 1797-1804, 2011.
- 6 上野博司, 権哲, 細川豊史. 患者の状態に合った適正なオピオイド製剤選択のポイント. がん患者ケア 5: 60-65, 2011.
- 7 上野博司, 細川豊史. 麻酔科医とがん緩和ケア. 日本臨床麻酔学会誌 31: 250-257, 2011.

#### (C-a) 英文原著

- 1 Kanbayashi Y, Hosokawa T, Okamoto K, Fujimoto S, Konishi H, Otsuji E, Yoshikawa T, Takagi T, Miki T, Taniwaki M. Factors predicting requirement of high-dose transdermal fentanyl in opioid switching from oral morphine or oxycodone in patients with cancer pain. *Clin J Pain*. 2011; 27:664-7. (IF=2.527) (消化器内科学、消化器外科学、泌尿器科学、血液・腫瘍学との共同)

(C-b) 和文原著

- 1 池田俊也, 小川節郎, 細川豊史, 村川和重, 堀田饒, 紺野慎一, 高橋和久, 菊地臣一, 花岡一雄, 小林慎. 末梢性神経障害性疼痛に対するプレガバリンの費用対効果分析. *薬剤疫学* (6): 1-9, 2011.
- 2 細川豊史. 舌咽神経ブロック. 別冊「神経ブロックを極める—脳神経および交感神経に関連して—. *ペインクリニック* 32 別冊春号: 55-62, 2011.

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 18 細川豊史. 末梢性神経障害性疼痛とは?. 大阪府社保・国保審査委員学術講演会, 2011, 大阪.
- 19 細川豊史. 知ってほしい痛みのお話—難治性疼痛の機序と治療を中心に—. 和歌山県四肢回整形外科部会講演会 第 105 回和歌山臨床整形外科医会研修会, 2011, 和歌山.
- 20 細川豊史. がんに伴う神経障害性疼痛—その治療の実際について薬物治療を中心に—. Web シンポジウム, 2011, 京都.
- 21 細川豊史. 痛みと末梢血流障害に対する低出力レーザーの有効性に関する基礎的証明. 教育講演 I ; 第 6 回日本レーザーリプロダクション学会学術講演会, 2011, 京都.
- 22 細川豊史. がん疼痛治療における新たな展開—トラマドールの位置づけとその使い方—. 道北疼痛懇話会, 2011, 旭川.
- 23 細川豊史. 実地臨床医が知っておきたい新しい鎮痛薬の使い方. 京都府医師会講演会「疼痛治療を考える」, 2011, 京都.
- 24 細川豊史. ペインクリニックにおける痛み治療の最前線. 第 6 回釜座神経外科懇話会, 2011, 京都.
- 25 細川豊史. がん疼痛ケアの重要性とその実際について—最新の薬剤の使い方を中心に—. 木曜に肺がんを読む会, 2011, 横浜.
- 26 細川豊史. 知ってほしい痛みのお話. 西明石疼痛セミナー 18 回譜久山

- 病院公開勉強会，2011，西明石。
- 27 細川豊史. 緩和ケアとは—がん疼痛管理を中心に—、下京東部医師会学術講演会，2011，京都。
  - 28 細川豊史. がん疼痛の特殊性とその管理における鎮痛薬の正しい使い方. 第189回福山外科会，2011，福山。
  - 29 細川豊史. 実地臨床医が知っておきたい新しい鎮痛薬の使い方について. 奈良県医師会内科部会講演会，2011，奈良。
  - 30 細川豊史. がん疼痛緩和のための最新・近未来の薬物療法ペインクリニック的治療，第24回佐賀緩和ケア研究会，2011，佐賀。
  - 31 細川豊史. 慢性疼痛の診断と薬物治療—臨床での経験から—. 第6回京都府薬剤師会学術講演会，2011，京都。
  - 32 細川豊史. 知ってほしい痛みのお話—慢性疼痛の実際—. 姫路市整形外科医会，2011，姫路。
  - 33 細川豊史. 疼痛概論 知ってほしい痛みのお話—疼痛治療についての最近の知見—. 高島市医師会学術講演会 日医障害教育講座. 2011，高島。
  - 34 細川豊史. 知ってほしい痛みのお話—本邦初となる神経障害性疼痛薬物療法ガイドラインに基づいて—. 第71回北丹医師会学術講演会，2011，京都。
  - 35 細川豊史. 慢性疼痛概論. 第11回京都府医師会生涯教育セミナー，2011，京都。
  - 36 細川豊史. 神経障害性疼痛の新たな治療戦略. 脊椎の痛みを学ぶ会 in 九州，2011，福岡。
  - 37 細川豊史. がん疼痛、非がん疼痛に対する薬物療法について—新しい薬剤を中心に—. 第18回栃木県ペインクリニック研究会，2011，栃木。
  - 38 細川豊史. 神経障害性疼痛を含めた難治性がん疼痛治療について. 第2回愛知緩和医療研究会，2011，名古屋。
  - 39 細川豊史. 知ってほしい痛みのお話—痛み治療に必要な簡単な知識について—. 第16回膠原病の臓器障害研究会，2011，大阪。
  - 40 深澤圭太. 特別講演 ペインクリニック外来におけるエコーガイド下神経ブロック. 第18回日本ペインクリニック学会北陸地方会. 2011. 3. 13 ; 福井
  - 41 深澤圭太. 教育講演 ペインクリニック外来における超音波ガイド下神経ブロック. 第41回日本ペインクリニック学会関西支部学術集会. 2011. 5. 14 ; 大阪
  - 42 上野博司. 教育講演 明日から役立つ麻酔と麻酔看護の基礎の基礎. 第57回日本手術室看護学会京都地区研修会，2011，京都

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 細川豊史、羽尻裕美. 総務委員会企画；麻酔科の診療報酬を考える2011・麻酔試案 神経ブロック. 日本麻酔科学会第58回学術集会, 2011, 神戸.
- 2 細川豊史. プレガバリンの神経障害性疼痛に対する治療効果と投与方法の実際. 日本ペインクリニック学会第45回大会, 2011, 松山.
- 3 細川豊史. 緩和ケアにおける漢方薬の役割とその使い方. 日本ペインクリニック学会第45回大会, 2011, 松山.
- 4 細川豊史. 日本における医療保険制度と痛みの治療の現状について. シンポジウム 8；各国の医療保険制度と痛みの治療現状. 日本ペインクリニック学会第45回大会, 2011, 松山.
- 5 細川豊史. 神経障害性疼痛の新たな治療戦略. 脊椎の痛みを学ぶ会, 2011, 大阪.

III) 国際学会における一般発表

該当なし

E 研究助成（競争的研究助成金）

該当なし

## 業績目録(平成24年)

### 疼痛・緩和医療学

#### (A-a) 英文著書

- 1 Kanbayashi Y. Hosokawa T. Predictors of Chemotherapy-Induced Peripheral Neuropathy. Peripheral Neuropathy - Advances in Diagnosis & Therapeutic Approaches - , Edit. Ghazala Hayat, Publish with In Tech:21-38, 2012.

#### (A-b) 和文著書

- 1 細川豊史. WHO方式がん疼痛治療法について. 厚生労働省「がん疼痛緩和と医療用麻薬適正使用推進のための講習会」テキスト, 山口:pp2-21, 2012.
- 2 細川豊史. 非がん性慢性(疼)痛に対するオピオイド鎮痛薬処方ガイドライン. 非がん性慢性(疼)痛に対するオピオイド鎮痛薬処方ガイドライン作成WG(細川豊史WG委員長)編・著. 真興交易医学出版部, 東京:2012.

#### (B-a) 英文総説

該当なし

#### (B-b) 和文総説

- 8 原田秋穂, 細川豊史. オピオイドを取り巻く新しい話題 D. 各種オピオイドの適応・投与上の注意点 4. トラマドール, 2)トラマドール/アセトアミノフェン配合錠(トラムセット配合錠). ペインクリニック 33(10)別冊秋号:S433-441, 2012.
- 9 三浦真由美, 細川豊史. 慢性痛治療薬の最近の話題 プレガバリン(リリカカプセル). Anesthesia 21 Century 14:2841-2845, 2012.
- 10 上野博司, 細川豊史. 塩酸モルヒネ製剤各種. Modern Physician 32(1):50-54, 2012.
- 11 細川豊史. 【がん疼痛の管理 アセトアミノフェンとNSAIDs】がん疼痛管理におけるアセトアミノフェンとNSAIDsの役割・位置づけ② NSAIDs. 薬局 63(6):2287-2291, 2012.
- 12 上野博司, 細川豊史. ペインクリニックにおけるチーム医療—京都府立医科大学付属病院—. ペインクリニック 33(3):370-378, 2012.
- 13 細川豊史, 河端恭代. ペインクリニックにおける低反応レベルレーザー

- 照射療法 (LLLT). 麻酔 61 : 718-727, 2012.
- 14 細川豊史. 各国の診療体制—運動器慢性疼痛医療の実情—. *Locomotive Pain Frontier* 1(1) : 18-22, 2012.
  - 15 細川豊史. チームの中での麻酔科医の役割, これからの緩和医療を担う麻酔科医へ. *LISA* 19(8) : 792-794, 2012.
  - 16 細川豊史. 日本における医療保険制度と痛みの治療. *ペインクリニック* 33(5) : 621-631, 2012.
  - 17 小西洋子, 山代亜紀子, 細川豊史. がん疼痛治療における NSAIDs の役割. *Modern Physician* 11 : 1365-1368, 2012.

(C-a) 英文原著

- 1 Kanbayashi Y, Onishi K, Fukazawa K, Okamoto K, Ueno H, Takagi T, Hosokawa T. Predictive factors for postherpetic neuralgia using ordered logistic regression analysis. *Clin J Pain*. 2012; 28:712-4. (IF=2.527)
- 2 Hatano Y, Fujimoto S, Ikka T, Hosokawa T, Kenji Fuku. Oral Nutrition or the Ability to Speak. The Choice Faced by a Cancer Survivor. *J Pain Symptom, Management* : 2012.

(C-b) 和文原著

- 3 谷口彩乃, 中村恵梨子, 八重樫和宏. 手術室における簡易音声モニターへの導入—小規模病院での試み—. *麻酔* 61(10) : 1156-1158, 2012.
- 4 吉田直久, 細川豊史, 石川剛, 八木信明, 古倉聡, 内藤裕二, 中西正芳, 國場幸均, 大辻英吾, 黒星晴夫, 谷脇雅史, 田口哲也, 細井創, 中村晃和, 三木恒治. 種々の癌腫の抗がん剤治療に伴う末梢性神経障害に対する牛車腎気丸の有効性. *Prog Med* 32 : 2509-2515, 2012.

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 43 細川豊史. 運動器慢性疼痛の薬物療法—その問題点と処方の実際—. 第2回滋賀県運動器疼痛懇話会, 2012, 滋賀.
- 44 細川豊史. 慢性疼痛に対する薬物療法—その現状と問題点—. 第1回名古屋慢性疼痛疾患検討会, 2012, 名古屋.
- 45 細川豊史. 化学療法後の末梢神経障害をはじめとするがんに伴う神経障害性疼痛治療の実際について. 第7回癌支持療法勉強会, 2012, 大阪.
- 46 細川豊史. 痛み治療と緩和ケアにおける漢方薬の役割とその上手な使い

- 方. 第 19 回札幌臨床漢方研究会 学術講演会, 札幌.
- 47 細川豊史. 慢性疼痛に対する薬物療法—その現状と問題点について—. 第 1 回栃木県運動器慢性疼痛研究会, 2012, 宇都宮.
  - 48 細川豊史. 慢性疼痛に対する薬物療法—その現状と問題点について—. 京都北・上京・西陣医師会 日本医師会生涯教育講座学術講演会, 2012, 京都.
  - 49 細川豊史. 痛みにまつわる保険診療無駄話. 第 3 回京滋地区痛みを考える会, 2012, 京都.
  - 50 Hosokawa T, Kawabata Y. How to treat intractable pain and pain treatment with the light therapy. Scientific Meeting of Clinical Pain in Korea, 2012. 9. 22 ; Seoul, Korea.
  - 51 細川豊史. 京都府立医科大学での緩和ケアに対するの取り組みと日本の緩和医療のこれから. 第 1 回京滋サイコオンコロジー研究会, 2012, 京都.
  - 52 細川豊史. 特別講演 ; 知ってほしい痛みの話—神経障害性疼痛の薬物療法を中心に—. Neurosurgery Conference in Shiga, 2012, 滋賀.
  - 53 細川豊史. WHO方式がん疼痛治療法について. 厚生労働省「がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会」, 2012, 山口.
  - 54 細川豊史. がん治療・緩和ケアにおける漢方薬の役割とその上手な使い方. 漢方調剤フォーラム, 2012, 京都.
  - 55 上野博司. 教育講演 明日から役立つ手術室の麻酔 基礎の基礎. 第 61 回日本手術室看護学会京都地区研修会, 2012, 京都

## II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 細川豊史. 慢性（疼）痛の薬物療法の実際とこれらの治療戦略—さまざまな新しい薬剤の使用法について—. 日本麻酔科学会第 59 回学術集会, 2012, 神戸.
- 2 細川豊史. がん性（疼）痛に対するWHO第二段階鎮痛薬としてのトラマドールの有効性とその実際について. 日本ペインクリニック学会第 46 回大会, 2012, 松江.
- 3 深澤圭太、細川豊史. 慢性疼痛における薬物療法の充実とその位置づけ. シンポジウム ; 麻酔科医が語る慢性痛の薬物療法. 日本臨床麻酔学会第 32 回大会, 2012, 郡山.
- 4 細川豊史. 死んだらどこへ行くのでしょうか?—患者さんの問いにどう答えますか. シンポジウム 1 ; 日本死の臨床研究会年次大会, 2012, 京都.

- 5 上野博司. 糖尿病性神経障害に対する低出力レベルレーザー照射治療 (LILT) の効果. シンポジウム; 痛み治療における光線療法の展望. 第 24 回日本レーザー治療学会, 2012, 幕張.

### Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 2 Keita Fukazawa, Toyoshi Hosokawa, Madoka Fukazawa, Chul Kwon, Moegi Tanaka, Yuko Yoshimoto. Incidence of intravascular penetration of 297 caudal epidurography under digital subtraction imaging. the 14th World Congress on Pain, International Association for the Study of Pain. 2012 Aug 30; Milan, Italy

### E 研究助成 (競争的研究助成金)

総額 150 万円

#### 公的助成

代表 (総額)・小計 150 万円

分担・小計 150 万円

- 1 文部科学省科学研究費科学研究費補助金基盤研究 (B) 平成 24~26 年度  
グラム陰性菌の V 抗原及びその相同タンパクに対する血清疫学調査 助成  
金額 150 万円

#### 財団等からの助成

該当なし

## 業績目録（平成25年）

### 疼痛・緩和医療学

#### (A-a) 英文著書

- 2 Kanbayashi Y, Hosokawa T: Predictive Factors for Postherpetic Neuralgia and Recent Pharmacotherapies. In Peripheral Neuropathy - A New Insight into the Mechanism, Evaluation and Management of a Complex Disorder, edited by Nizar Souayah, InTech - Open Access Publisher, (Rijeka, Croatia), 147-164, 2013.

#### (A-b) 和文著書

- 1 細川豊史, 山口重樹. Avoiding Opioid Abuse While Managing Pain. 臨床医のためのガイド: オピオイド乱用・依存を回避するために. L. R. Webster・B Dove 監訳. 真興交易医書出版部, 東京: 2013.
- 2 細川豊史. 在宅緩和ケア—医療用麻薬の適正使用とがん疼痛緩和—. 厚生労働省「がん疼痛緩和と医療用麻薬適正使用推進のための講習会」テキスト: pp2-30, 2013.
- 3 深澤圭太, 細川豊史. 京都府立医科大学 疼痛緩和医療学講座, ホスピス緩和ケア白書 2014, 青海社, 東京: p29-31, 2013.
- 4 上野博司, 佐和貞治. 局所鎮痛法. 手術後鎮痛のすべて. 川真田樹人編. 文光堂, 東京: pp105-109, 2013.
- 5 大西佳子, 細川豊史. フェンタニル. 痛みの Science & Practice 2. 痛みの薬物療法(山本達郎編), 文光堂, 東京: pp136-140, 2013.
- 6 山代 亜紀子, 細川 豊史, 深澤 圭太, 大西 佳子, 権 哲. 【ペインクリニック診療の課題と展望】 緩和医療を受け持つペインクリニック診療における課題と展望. ペインクリニック (0388-4171)34 巻 6 号: pp760-770, 2013.
- 7 山代 亜紀子, 細川 豊史. 私の処方 帯状疱疹後神経痛. Modern Physician(0913-7963)33 巻 10 号: pp1306, 2013.
- 8 山代 亜紀子 細川 豊史, 深澤 まどか. 【臨床におけるメサドンの適応と効果】 メサドンの臨床的特性 副作用を中心に. ペインクリニック (0388-4171)34 巻 11 号: pp1503-1510, 2013.
- 9 山代亜紀子、細川豊史: がん疼痛、ファーマナビゲーター・19 COX-2 阻害薬編 改訂版、2013 .

- 10 田中萌生, 細川豊史. 光線療法 1) 低反応レベルレーザー. 肩こりの臨床. 森本昌宏 編. 克誠堂出版, 東京 : pp179-181, 2013.

(B-a) 英文総説

- 1 Kanbayashi Y. Hosokawa T. Predictive Factors for Postherpetic neuralgia and Recent Pharmacotherapies. *Mental and Behavioural Disorders and Diseases of the Nervous System; "Peripheral Neuropathy - A New Insight into the Mechanism. Evaluation and Management of a Complex Disorder."* Publish with In Tech : 147-164, 2013.

(B-b) 和文総説

- 1 細川豊史, 小藪実英, 沼野尚美, 花岡尚樹. 死んだらどこへ行くのでしょうか—患者さんの問いにどう答えますか—. *死の臨床* 36(1) : 29-36, 2013.
- 2 細川豊史. がんと診断されたら始める緩和ケア—緩和ケアってなに. *NHK テレビテキスト今日の健康* : 54-57, 2013.
- 3 細川豊史. がんと診断されたら始める緩和ケア—痛みを上手に和らげよう—. *NHK テレビテキスト今日の健康* : 58-61, 2013.
- 4 細川豊史. 医師からみた我が国の緩和医療の現況と課題. *Pharma Medical* 31(2) : 39-42, 2013.
- 5 細川豊史. 緩和ケアの基本的な考え方. *外科* 75(4) : 343-347, 2013.
- 6 細川豊史. 線維筋痛症(FM)の治療. 難病と在宅ケア 19(4) : 33-36, 2013.
- 7 細川豊史. がんの痛みの治療—長期生存者の痛みを含めて—. *Medicament News* 第 2131 号 : 1-3, 2013.
- 8 細川豊史. 疼痛緩和療法. *外科* 75(12) : 1421-1425, 2013.
- 9 細川豊史. 第 18 回日本緩和医療学会学術大会. *臨床麻酔* 37 (10) : 1525-1526, 2013.
- 10 深澤圭太. 腕神経叢ブロック:斜角筋, 鎖骨上, 鎖骨下, 腋窩. *ペインクリニック Vol. 34 別冊秋号*:S343-352, 2013.
- 11 深澤圭太. 腕神経叢ブロック:斜角筋, 鎖骨上, 鎖骨下, 腋窩. *ペインクリニック Vol. 34 別冊秋号*:S343-352, 2013.
- 12 深澤圭太, 細川豊史. 上肢痛. *日本医師会雑誌 Vol. 143 特別号 (1)* : S136-137, 2013.
- 13 上野博司. 腰部脊柱管狭窄症におけるエピドラスコピーの有効性とその限界. *日本臨床麻酔学会誌* 30: 320-325, 2013.
- 14 谷口彩乃, 細川豊史. 鎮痛補助薬 (抗うつ薬), プレガバリン, フェンタ

ニル経皮吸収型製剤, ブプレノルフィン経皮吸収型製剤, トラマドール・アセトアミノフェン配合薬. PROGRESS IN MEDICINE. 33 : 21-23, 2013.

(C-a) 英文原著

- 3 Kanbayashi Y, Onishi K, Fukazawa K, Okamoto K, Ueno H, Takagi T, Hosokawa T. Predictive factors for postherpetic neuralgia using ordered logistic regression analysis. *Clin J Pain*. 2012; 28:712-4. (IF=2.527)
- 4 Kanbayashi Y, Hosokawa T, Kitawaki J, Taguchi T. Statistical identification of predictors for paclitaxel induced peripheral neuropathy in breast or gynaecological cancer patients. *Anticancer Res* 33 : 1153-1156, 2013. (IF=1.872)
- 5 Kanbayashi Y, Hatano Y, Hata Y, Morita T, Fukui K, Hosokawa T. Predictive factors for agitation severity of hyperactive delirium in terminally ill cancer patients in a general hospital using ordered logistic regression analysis. *J Palliat Med* 16(9) : 1020-5, 2013. Sep. (IF=2.845)
- 6 Yoshida T, Hosokawa T, Ishikawa N, Yagi S, Kokura Y, Naito M, Nakanishi Y, Kokuba E, Otsuji H, Kuroboshi M, Taniwaki T, Taguchi H, Hosoi T, Nakamura and Miki T. Efficacy of Goshajinkigan for Oxaliplatin-Induced Peripheral Neuropathy in Colorectal Cancer Patients. *Journal of Oncology* Vol2013, Article ID 139740 : 8p, 2013.
- 7 Hatano Y, Fujimoto S, Ikka T, Hosokawa T, Fukui K. Oral Nutrition or the Ability to Speak ; The Choice Faced by a Cancer Survivor. *J Pain Symptom Management* 46(3) : 452-455, 2013.
- 8 Kanbayashi Y, Hosokawa T. Vaccination Against and Treatment of Acute Herpes Zoster for Prevention of Post-Herpetic Neuralgia. *Curr Pain Headache Rep* 17 : 371-377, 2013.

(C-b) 和文原著

- 1 谷口彩乃, 中村恵梨子, 八重樫和宏. 手術室における簡易音声モニターの導入—小規模病院での試み—. *麻酔* 61(10) : 1156-1158, 2012.
- 2 山代亜紀子, 細川豊史, 深澤圭太, 大西佳子, 権哲. 緩和医療を受け持つペインクリニック診療における課題と展望. *ペインクリニック* 34(6) : 760-770, 2013.

- 3 花岡一雄, 小川節郎, 堀田, 佐藤譲、菊池臣一, 棚橋紀夫, 片山容一, 細川豊史, 紺野慎一, 鈴木則宏, 関口美穂, 山本隆充, 住谷昌彦. わが国における神経障害性疼痛治療の進展と今後の展望—専門家によるコンセンサス会議からの提言—. 日本ペインクリニック学会誌 34(9) : 1227-1237, 2013.
- 4 小川節郎, 細川豊史, 浅野弘明, 玉田あゆみ, 高垣和孝, 三野宏治. 帯状疱疹後神経痛を対象とした NS-315(トラマドール塩酸塩)の臨床第Ⅲ相試験—プラセボを対照とした二重盲検群間比較試験(ランダム化治療中止デザイン)—. 臨床医薬 29(6) : 513-530, 2013.
- 5 小川節郎, 細川豊史, 浅野弘明, 玉田あゆみ, 高垣和孝, 三野宏治. 慢性非がん性疼痛を対象とした NS-315(トラマドール塩酸塩)の長期投与試験—非対照オープンラベル試験—. 臨床医薬 29(6) : 531-546, 2013.

#### (D) 学会発表

##### I) 特別講演、教育講演等

- 56 細川豊史. 特別講演; 症例から学ぶ疼痛疾患—痛みからの診断と治療の実例—. 第5回岡山痛みの診断・治療懇話会, 2013, 岡山.
- 57 細川豊史. がん長期生存者の遷延する痛みの現状. 日本慢性疼痛学会, 2013, 東京.
- 58 細川豊史. 特別講演; 本邦における緩和医療の現状と展望. 群馬県がん診療連携拠点病院講演会, 2013, 群馬.
- 59 細川豊史. 化学療法による末梢性神経障害による神経障害性疼痛の現状と治療について. 愛知県がんセンター学術講演会, 2013, 名古屋.
- 60 細川豊史. 特別講演; 緩和ケアの臨床、行政、学会における最近の動向. 佐賀緩和ケア学術講演会, 2013, 佐賀.
- 61 細川豊史. 緩和ケアの臨床、行政、学会の方向性、最近の動向. 第19回熊本 Cancer Pain Forum, 2013, 熊本.
- 62 細川豊史. 知ってほしい痛みの話. 綴喜・相楽郡医師会学術講演会 日本医師会生涯教育講座学術講演会, 2013, 京都.
- 63 細川豊史. 知ってほしい痛みの話—基礎編—. 神経の痛みを学ぶ会, 2013, 倉敷.
- 64 細川豊史. 特別講演; 痛みの治療の重要性と最先端の薬物治療の実例. 日本医師会生涯教育講座 Meet The Specialist—痛みへの新たなアプローチ—, 2013, 和歌山.
- 65 細川豊史. 特別講演; 知ってほしい痛みの話と神経障害性疼痛薬物療法

- ガイドラインに基づく痛み治療の実際—. 小松市・加賀市・能美市医師会学術講演会 医師会生涯教育講座学術講演会, 2013, 小松.
- 66 細川豊史. 特別講演; “がん” と診断された時からの緩和ケア—がん疼痛治療の重要性と正しい治療法—. 第 32 回呉麻酔科医会, 2013, 呉.
- 67 細川豊史. 特別講演; 緩和ケアの現状と展望そして緩和ケアにおける漢方薬の役割とその使い方. 北河内緩和ケア講演会, 2013, 大阪.
- 68 細川豊史. 特別講演; 知ってほしい痛みの話. 新潟痛みを考える会, 2013, 新潟.
- 69 細川豊史. 特別講演; “がん” と診断された時からの緩和ケア—がん疼痛治療の重要性と正しい治療法—. 第 4 回沖縄疼痛研究会, 2013, 沖縄.
- 70 細川豊史. 特別講演; “がん” と診断された時からの緩和ケア—がん疼痛治療の重要性と正しい治療法—. 第 4 回久留米サイコオンコロジー研究会, 2013, 久留米.
- 71 細川豊史. 特別講演; 緩和ケア地域連携クリティカルパスについて. 第 6 回中国・四国地区緩和ケアチーム懇話会, 2013, 高松.
- 72 細川豊史. がん疼痛に対するオピオイド鎮痛薬使用法に関する大きな誤解—今日誤解を解き正しい治療をただちにおこなってください—. 第 7 回日本緩和医療薬学会年会, 2013, 千葉.
- 73 細川豊史. 特別講演; 緩和ケアの現状と展望—緩和ケアにおける漢方薬の役割とその使い方—. 第 14 回愛宕漢方研究会, 2013, 東京.
- 74 細川豊史. 特別講演; NSAIDs の merit & demerit—各種鎮痛薬との比較—. 大阪府臨床麻酔科医会 第 32 回総会・秋季学術講演会, 2013, 大阪.
- 75 細川豊史. 特別講演; 緩和ケアの現況とこれからの課題の克服. 第 52 回全国自治体病院学会, 2013, 京都.
- 76 細川豊史. 特別講演; 知ってほしい痛みの話. 乙訓医師会学術講演会, 2013, 京都.
- 77 細川豊史. 特別講演; 本邦における緩和ケアの現況とこれからのについて. 臨海セミナー, 2013, 東京.
- 78 細川豊史. 特別講演; 知ってほしい痛みの話—さまざまな治療法の実際—. 第 2 回倉敷運動器疼痛研究会, 2013, 岡山.
- 79 細川豊史. WHO 方式がん疼痛治療法について 在宅緩和ケア—医療用麻薬の適正使用とがん疼痛緩和—. 厚生労働省「がん疼痛緩和と医療用麻薬適正使用推進のための講習会」, 2013, 滋賀.
- 80 上野博司. 教育講演 明日から役立つ手術室の麻酔 基礎の基礎. 第 65 回日本手術室看護学会京都地区研修会, 2013, 京都

81 上野博司. 招請講演 肩関節手術の麻酔と術後疼痛管理. 第 40 回日本肩関節学会, 2013, 京都

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 細川豊史. がん長期生存者の痛みの現状. シンポジウム 2 ; がん長期生存者と遷延する痛み. 第 42 回日本慢性疼痛学会, 2013, 東京.
- 2 細川豊史. 診断時からのがん疼痛緩和. 平成 24 年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発シンポジウム「がんと診断された時からの緩和ケア」, 2013, 東京.
- 3 細川豊史. 疼痛ケアの早期からの痛みの治療の重要性—がん疼痛を中心に—. ランチョンセミナー; 第 24 回日本在宅医療学会学術集会, 2013, 大阪.
- 4 神林祐子, 権哲, 羽多野裕, 細川豊史. オピオイド鎮痛薬の依存症例. シンポジウム 4 ; オピオイド鎮痛薬の依存を巡って. 第 7 回日本緩和医療薬学会, 2013, 幕張.
- 5 細川豊史. 知ってほしい痛みの話—痛み治療の重要性とその実際—. ランチョンセミナー3 ; 第 52 回全国自治体病院学会, 2013, 京都.
- 6 細川豊史. 骨転移痛緩和のための全人的ケアについて. シンポジウム ; 骨転移診療における緩和医療とリハビリテーション医療の融合. 第 51 回日本癌治療学会学術集会, 2013, 京都.
- 7 羽多野裕, 細川豊史. ポート埋め込み持続くも膜下モルヒネ投与鎮痛法が有用であった 1 症例. パネル 6; 制御困難な疼痛の原因追求とその対策, 難治性胸背部がん性痛に対して. 第 18 回日本緩和医療学会学術大会, 2013, 横浜.
- 8 深澤 圭太. 頸肩上肢痛に対する超音波ガイド下神経ブロック. シンポジウム ザ・討論 8 症例から考える頸肩上肢痛とその治療. 日本ペインクリニック学会第 46 回大会, 2013, 大宮
- 9 権 哲, 細川豊史, シンポジウム 2 : がん長期生存者と遷延する痛み, オピオイド使用とそれに伴う依存～食道がん術後の創部痛にレスキューを伴う処方と依存症に陥った 1 症例～. 第 42 回日本慢性疼痛学会, 2013, 東京
- 10 波多野貴彦. 難治性胸背部がん性痛に対してポート埋め込み持続くも膜下モルヒネ投与鎮痛法が有用であった 1 症例. 第 18 回日本緩和医療学会学術大会, 2013, 横浜

III) 国際学会における一般発表

- 3 Keita Fukazawa, Toyoshi Hosokawa, Madoka Fukazawa, Chul Kwon, Moegi Tanaka, Yuko Yoshimoto. Incidence of intravascular penetration of 297 caudal epidurography under digital subtraction imaging. the 14th World Congress on Pain, International Association for the Study of Pain. 2012 Aug 30; Milan, Italy

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 774 万円

公的助成

代表（総額）・小計 429 万円

- 1 文部科学省科学研究費科学研究費補助金基盤研究（C） 平成 25～27 年度  
タキサン系抗癌剤による末梢神経障害性疼痛の予防・治療法の開発 助成  
金額 429 万円

分担・小計 345 万円

- 2 文部科学省科学研究費科学研究費補助金基盤研究（B） 平成 24～26 年度  
グラム陰性菌の V 抗原及びその相同タンパクに対する血清疫学調査 助成  
金額 150 万円
- 3 厚生労働省科学研究補助金（がん臨床研究事業）平成 25 年度  
がん診療拠点病院におけるがん疼痛緩和に対する取り組みの評価と改善  
に関する研究 助成金額 195 万円

財団等からの助成

該当なし

## 業績目録(平成26年)

### 疼痛・緩和医療学

#### (A-a) 英文著書

##### \*個人著書の場合

1. Kanbayashi Y, Hosokawa T: Oxycodone: Abuse Prevention Especially in Cancer Patients: Substance Abuse: In Prevalence, Genetic and Environmental Risk Factors and Prevention, edited by Jeffrey Raines, Nova Science Publishers, (New York), 165-179, 2014.

#### (A-b) 和文著書

- 1 細川豊史. 侵害受容痛. ペインクリニシヤンのための新キーワード 135. 真興交易医書出版部, 東京: pp50-51, 2014.
- 2 細川豊史. 神経障害性痛. ペインクリニシヤンのための新キーワード 135. 真興交易医書出版部, 東京: pp52-53, 2014.
- 3 大西佳子, 細川豊史. 心因性疼痛. ペインクリニシヤンのための新キーワード 135. 真興交易医書出版部, 東京: pp54-56, 2014.
- 4 山代亜紀子, 細川豊史. 慢性痛. ペインクリニシヤンのための新キーワード 135. 真興交易医書出版部, 東京: pp59-60, 2014.
- 5 権哲, 細川豊史. がん疼痛. ペインクリニシヤンのための新キーワード 135. 真興交易医書出版部, 東京: pp61-63, 2014.
- 6 細川豊史. がんによる痛み (がん疼痛). 症例で身につくがん疼痛治療薬. 山口重樹, 下山直人 編, 羊土社, 東京: pp20-24, 2014.
- 7 深澤圭太. 末梢神経ブロック. がん性痛に対するインターベンショナル治療ガイドライン, 真興交易, 東京; p9-24, 2014
- 8 大西佳子, 細川豊史. オピオイドによる退薬症状. 痛みの Science & Practice 5. 痛み診療キーポイント(川真田樹人編), 254, 文光堂, 東京, 2014.
- 9 権 哲, 細川豊史. オピオイド鎮痛薬による乱用・依存の症例検討. ペインクリニック. 真興交易(株)医書出版部, 東京: Vol135 No1, pp39-48, 2014
- 10 山代 亜紀子, 細川 豊史. 診療の秘訣 「麻薬不安」を持つがん患者への内服説明のコツ. Modern Physician(0913-7963)34 巻7号 P851, 2014
- 11 山代 亜紀子, 細川 豊史. 【直腸投与製剤 これまで集積されたノウハウ

ウと薬物治療の最前線】 エキスパートに学ぶ!薬物治療における直腸投与製剤の位置づけと活用のポイント がん疼痛. 薬局(0044-0035)65 巻9号 P2439-2444, 2014

- 12 神林祐子, 細川豊史. 特集ペインクリニック治療においておさえておくべき薬物相互作用 6. 鎮痛補助薬の薬物相互作用 1) 抗うつ薬の薬物相互作用 ②SSRI、SNRI の薬物相互作用. ペインクリニック別冊秋号 35 真興交易医書出版部, 東京: pp467-480, 2014.
- 13 森尾佳代子, 神林祐子, 細川豊史. 特集ペインクリニック治療においておさえておくべき薬物相互作用 5. オピオイド鎮痛薬の薬物相互作用 2) ブプレノルフィンの薬物相互作用. ペインクリニック別冊秋号 35 真興交易医書出版部, 東京: pp407-412, 2014.

(B-a) 英文総説

該当なし

(B-b) 和文総説

- 1 細川豊史. これからの痛み治療について. Practice of Pain Management 5(2) : 60-61, 2014.
- 2 細川豊史. がんの痛みの薬. NHK テレビテキスト今日の健康:90-96, 2014.  
細川豊史. “がん” および “非がん性” 慢性 [疼] 痛治療におけるオピオイド鎮痛薬の乱用・依存の諸問題によせて. ペインクリニック 35(1) : 5-6, 2014.
- 3 細川豊史. がんのチーム医療 緩和ケアチーム. 今日の健康. NHK 出版 : 80-83, 2014.
- 4 深澤圭太, 細川豊史. 上肢痛. 日本医師会雑誌 143 : 136-137, 2014.
- 5 深澤圭太. 小児の局所麻酔. OPE NURSING Vol.29 No.11: 1068-71, 2014.
- 6 深澤圭太. リハビリテーションのための神経ブロックによる緩和法. Medical Rehabilitation No177: 63-67, 2014.
- 7 上野博司, 深澤圭太, 原田秋穂, 細川豊史. 糖尿病性神経障害に対する低反応レベルレーザー照射治療 (Low reactive Level Laser Therapy: LLLT) の効果. 日本レーザー医学会誌 34: 406-412, 2014.
- 8 山代亜紀子, 細川豊史. がん疼痛. 薬局 65(9) : 89-94, 2014.

(C-a) 英文原著

- 1 Fukazawa K, Matsuki Y, Ueno H, Hosokawa T, Hirose M. Risk factors related to accidental intravascular injection during caudal

anesthesia. *J Anesth.* 2014 Dec;28(6):940-3.

- 2 Kanbayashi Y, Hosokawa T. Predictive factors for nausea or vomiting in patients with cancer who receive oral oxycodone for the first time: is prophylactic medication for prevention of opioid-induced nausea or vomiting necessary? *J Palliat Med.* 2014; 17:683-7. (IF=1.912)
- 3 Kanbayashi Y, Onishi K, Hosokawa T. Factors predicting adverse events associated with pregabalin administered for neuropathic pain relief. *Pain Res Manag.* 2014; 19:e164-7. (IF=1.518)

(C-b) 和文原著

- 5 細川豊史. 知ってほしい痛みの話と新しい鎮痛剤の分かりやすい使い方. 京都整形外科医会 学術講演会報告 83 : 14-17, 2014.
- 6 上野博司, 細川豊史. 術前の予測に反する結果を示したエピソードスコピー症例の検討. 日本臨床麻酔学会誌 34: 307-311, 2014.
- 7 権 哲, 細川豊史, 深澤圭太, 吉本祐子. 食道がん術後の創部痛にレスキューを伴うオピオイド鎮痛薬の処方を行い依存症に陥った1症例. 日本ペインクリニック学会誌. Vol21, No1: pp50-53, 2014.
- 8 森尾佳代子, 神林祐子, 細川豊史. ブプレノルフィンの薬物相互作用. ペインクリニック 35 : S407-S412, 2014.

(D) 学会発表

I) 特別講演、教育講演等

- 1 細川豊史. 知ってほしい痛みの話—痛み治療の重要性の理解のために—. 日本フットケア学会年次学術集会, 2014, 奈良.
- 2 Hosokawa T, Maegawa Y. How to Treat Intractable Pain with the Light Therapy - About the Results of Our Basic Studies and the Clinical Method. 2014. 3. 30 ; Taiwan.
- 3 細川豊史. 知ってほしい痛みの話と新しい鎮痛剤の分かりやすい使い方. 京都整形外科医会 平成 26 年 4 月定例講演会. 2014, 京都.
- 4 細川豊史. 知ってほしい痛みの話&新しい鎮痛薬の分かりやすい使い方. 京都整形外科医会学術講演会, 2014, 京都.

- 5 細川豊史. がん性疼痛ケアにおける新しい薬剤の使用法とその実際. 第13回臨床薬剤師業務シリーズ研修会, 2014, 京都.
- 6 細川豊史. がん疼痛ケアの初期段階における上手な薬剤の使い方. 日本ペインクリニック学会第48回大会, 2014, 東京.
- 7 細川豊史. 知ってほしい痛みの話—痛み治療の重要性の理解のために—. 第5回東北慢性疼痛学会, 2014, 福島.
- 8 細川豊史. 我が国の緩和医療の現況と克服すべき課題. 教育講演19; 第52回日本癌治療学会学術集会, 2014, 横浜.
- 9 細川豊史. 特別講演; 本邦における緩和ケアの現状とその将来. 第41回病診連携による生涯教育研修会. 2014, 大阪.
- 10 細川豊史. 知ってほしい痛みの話、そしてこれからの緩和ケア. 特別講演; 平成26年度大阪泌尿器科臨床医会臨時総会第66回学術集会. 2014, 大阪.

## II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 細川豊史. 特別講演, 知ってほしい痛みの話と神経障害性疼痛薬物療法—ガイドラインに基づく痛みの治療の実際—. 第4回静岡慢性疼痛を考える会, 2014, 静岡
- 2 細川豊史. がん疼痛ケアの初期段階における上手な薬剤の使い方. イブニングセミナー3. 日本ペインクリニック学会第48回大会, 2014, 東京
- 3 細川豊史. 知ってほしい痛みの話—痛み治療の重要性の理解のために—. 第5回福島慢性疼痛研究会, 2014, 福島
- 4 細川豊史. 女性がん患者さんへの疼痛ケア. パネル「ライフステージにおけるトピックス」; 第43回日本女性心身医学会学術集会, 2014, 京都.
- 5 細川豊史. がんと診断されたときからの緩和ケアとは—在宅を含めた切れ目のない緩和ケア—. 京都在宅医療塾. 2014, 京都.
- 6 細川豊史. 知ってほしい痛みの話&新しい鎮痛薬の分かりやすい使い方. 第5回ペインフォーラム沖縄, 2014, 沖縄.
- 7 細川豊史. さまざまな痛みに対するオピオイド鎮痛薬の処方を考える—オピオイドの乱用・依存を防ぐために—. ランチョンセミナー; 第8回日本緩和医療薬学会, 2014, 愛媛.
- 8 細川豊史. 基調講演; かけがえのない時間を過ごすための早期からの緩和ケアとがん疼痛ケア—知ってほしい痛みの話—. 2014年度ソーシャルワーカーのスキルアップを目指す実践セミナー, 2014, 京都.
- 9 細川豊史. 日本緩和医療学会の緩和ケアとがん疼痛緩和への取り組み. 第7回運動器疼痛学会 痛み合同シンポジウム, 2014, 宇部.

- 10 細川豊史. 特別講演；長期サバイバーの緩和ケアを考える. 栃木県緩和ケア オータムセミナー, 2014, 宇都宮
- 11 細川豊史. がんと診断されたときからの緩和ケアとは—在宅を含めた切れ目のない緩和ケア—. 京都在宅医療塾, 2014, 京都.
- 12 深澤 圭太. 緩和ケアと区域麻酔. 日本区域麻酔学会第1回学術集会 リフレッシュャーコース. 2014, 岡山
- 13 上野博司. エピドラスコピーの現状と今後の展望. シンポジウム；難治性腰下肢痛に対する低侵襲治療の今. 第44回日本ペインクリニック学会関西支部学術集会, 2014, 大阪.
- 14 権 哲, 細川豊史, シンポジウム4：オピオイドと鎮痛薬の使い方, がん患者に生じる痛みに対するオピオイド鎮痛薬の正しい使い方とその問題点. 日本ペインクリニック学会第48回大会. 2014, 東京

### Ⅲ) 国際学会における一般発表

- 1 K. Fukazawa, Y. Matsuki, M. Hirose, T. Hosokawa. RISK FACTORS RELATED TO ACCIDENTAL INTRAVASCULAR INJECTION DURING CAUDAL ANESTHESIA, The 33rd Annual Congress of the European Society of Regional Anaesthesia and Pain Therapy 2014, Sevilla, 2014. 9. 6

## E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 3,504 万円

### 公的助成

代表（総額）・小計 429 万円

- 1 文部科学省科学研究費科学研究費補助金基盤研究（C）平成 25～27 年度  
タキサン系抗癌剤による末梢神経障害性疼痛の予防・治療法の開発 助成金額 429 万円

分担・小計 3,075 万円

- 4 文部科学省科学研究費科学研究費補助金基盤研究（B）平成 24～26 年度  
グラム陰性菌の V 抗原及びその相同タンパクに対する血清疫学調査 助成金額 150 万円
- 2 厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）平成 26 年度  
がん診療拠点病院におけるがん疼痛緩和に対する取り組みの評価と改善に関する研究 助成金額 2,925 万円

財団等からの助成  
該当なし